

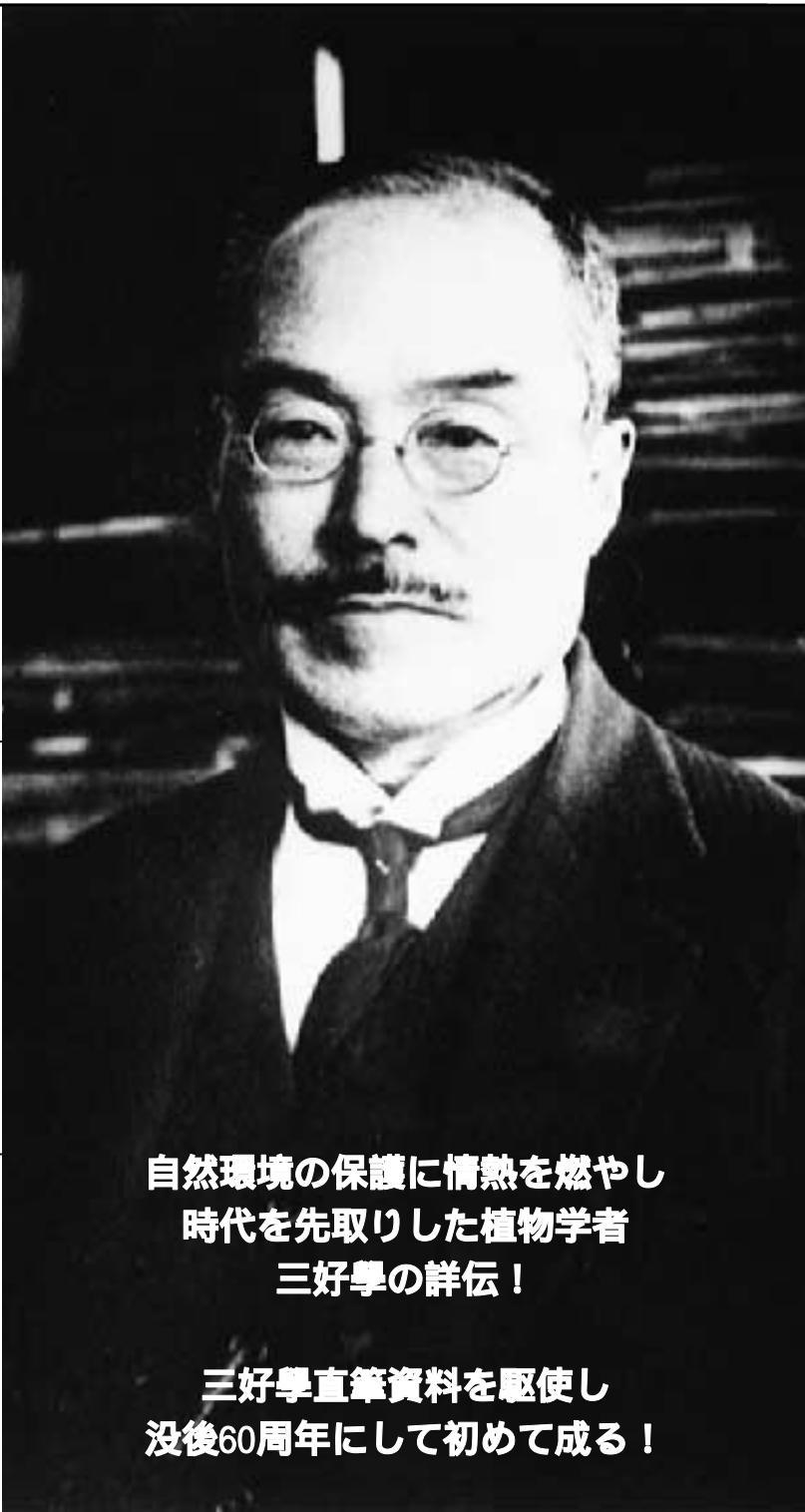
日本近代植物学の開拓者

評伝 三好學

酒井敏雄著

八坂書房刊

(1862—1939)



自然環境の保護に情熱を燃やし
時代を先取りした植物学者
三好學の詳伝！

三好學直筆資料を駆使し
没後60周年にして初めて成る！

三好學 略年譜

- みよしまなぶ
- 1861 文久元年12月5日（新暦の1862年1月4日）岩村藩江戸藩邸にて誕生。
 - 1868 藩主帰国に伴い国元（岩村）へ移る。
 - 1872 父急逝（46歳）。
 - 1876 小学校卒業、福井小学授業法伝習所へ。
 - 1877 石川県第三師範学校に編入、翌年卒業。
 - 1879 公立土岐小学校の首席訓導となる。
 - 1880 犬山の村瀬太乙に師事し、漢籍と書を学ぶ。
 - 1882 前年訓導職を辞し、東京大学予備門入学。
 - 1885 東京大学予備門卒業、東京大学理学部生物学科入学。
 - 1886 東京帝国大学理科大学動植物学科第一学年に編入。
 - 1889 東京帝国大学理科大学植物学科卒業、大学院へ。
 - 1891 ドイツ（ライプチヒ大学）留学、ベッフアー教授（植物生理学）に師事。
 - 1893 ドイツ植物学会会員。
 - 1895 帰国し、東京大学理科大学教授に就任（植物学第二講座担当）。矢野ミツと結婚。学位（理学博士）取得。「植物生態学」の訳語を発表。
 - 1899 ドイツ樹木学会会員。
 - 1906 天然記念物保存の必要性の世論を喚起。東京植物学会会長（1度目）。
 - 1907 東南～南アジア学術視察旅行。
 - 1908 東京植物学会会長（2度目）。
 - 1910 花萼藩の進化について御進講。
 - 1912 オーストリア動植物学会客員。母死去（74歳）。
 - 1913 欧米学術視察のため出国。ベルリンで野口英世に会う。
 - 1914 ニューヨークで野口英世と再会。帰国。米国名勝史蹟保存協会名誉会員。
 - 1919 「史蹟名勝天然記念物保存法」公布。史蹟名勝天然記念物調査委員を拝命。
 - 1920 帝国学士院会員。教授在職25年記念祝賀会。
 - 1922 東京帝国大学附属植物園園長。
 - 1923 東京植物学会会長となる（3度目）。
 - 1924 停年退官。東京帝国大学名誉教授。
 - 1929 第四回太平洋学術会議出席。クラカタウ火山視察。
 - 1935 ウィーン学士院客員。エジンバラ学士院客員。
 - 1936 日本植物学会会長辞任。同名誉会長。
 - 1939 5月11日、急性肺炎で死去（満77年5ヶ月）。

著者略歴

酒井敏雄（さかい・としお）

1920年生まれ、名古屋市在住。

商業学校を経て北海道帝国大学理学部（植物学）に進むが兵役のため中断。戦後、技術分野（通信機関係）に進む。しかし植物学への思いやみがたく、停年後、三好學直筆資料（三百余点）を入手したことから三好學の伝記編纂に専念、今日に到る。

菊判・上製・布クロス装・箱入り
 総 744頁（著作総目録ほか関係資料 88頁を含む）
 挿図 177点 表 17点 9ポ1段組
 定価 21,000円（本体 20,000円）

八坂書房

〒101 0064 東京都千代田区猿楽町1 4 11
電話・03 3293 7975 振替 00150 8 33915

注文書

評伝 三好學
日本近代植物学の開拓者
酒井敏雄著

右の購入を申し込みます

八坂書房

氏名 _____ 電話 _____ 住所 _____

住所・氏名をご記入の上
お近くの書店に
お申し込み下さい。

取扱書店